



平成29年上半期 大分税関支署管内貿易概況

平成29年8月3日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は3,626.3億円、前年同期比26.4%増、4期ぶりのプラス
鉄鋼、有機化合物、事務用機器、映像機器などが増加

輸入額は5,422.9億円、前年同期比21.1%増、5期ぶりのプラス
石炭、鉄鉱石、原油及び粗油、揮発油などが増加
銅鉱などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同期比	構成比	輸 入	価 額	前年同期比	構成比
鉄鋼	109,035	134.5	↑	銅鉱	122,666	94.0	↓
有機化合物	52,249	128.0	↑	石炭	100,802	161.7	↑
事務用機器	51,135	128.4	↑	鉄鉱石	98,675	124.0	↑
銅及び同合金	47,584	102.0	↑	原油及び粗油	57,614	126.5	↑
船舶類	38,997	118.8	↑	液化天然ガス	56,643	115.4	↑
映像機器	17,334	175.7	↑	揮発油	47,373	124.0	↑

港（通関官署）別の状況

大 分) 輸出は3,267.9億円、前年同期比24.8%増。鉄鋼、有機化合物などが増加
輸入は5,368.7億円、前年同期比21.1%増。石炭、鉄鉱石などが増加

佐 伯) 輸出は139.1億円、前年同期比2.8倍。船舶類、荷役機械などが増加
輸入は17.6億円、前年同期比2.1倍。植物性油かす、魚介類などが増加

津久見) 輸出は219.3億円、前年同期比8.7%増。石灰石などが増加
輸入は36.5億円、前年同期比2.4%減。石炭、アルコール飲料などが減少

大分 空港) 輸出は3.9百万円、前年同期比0.2%増。再輸出品が増加
大分 空港) 輸入は4.8百万円、前年同期比15.9%増。荷役機械が増加

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

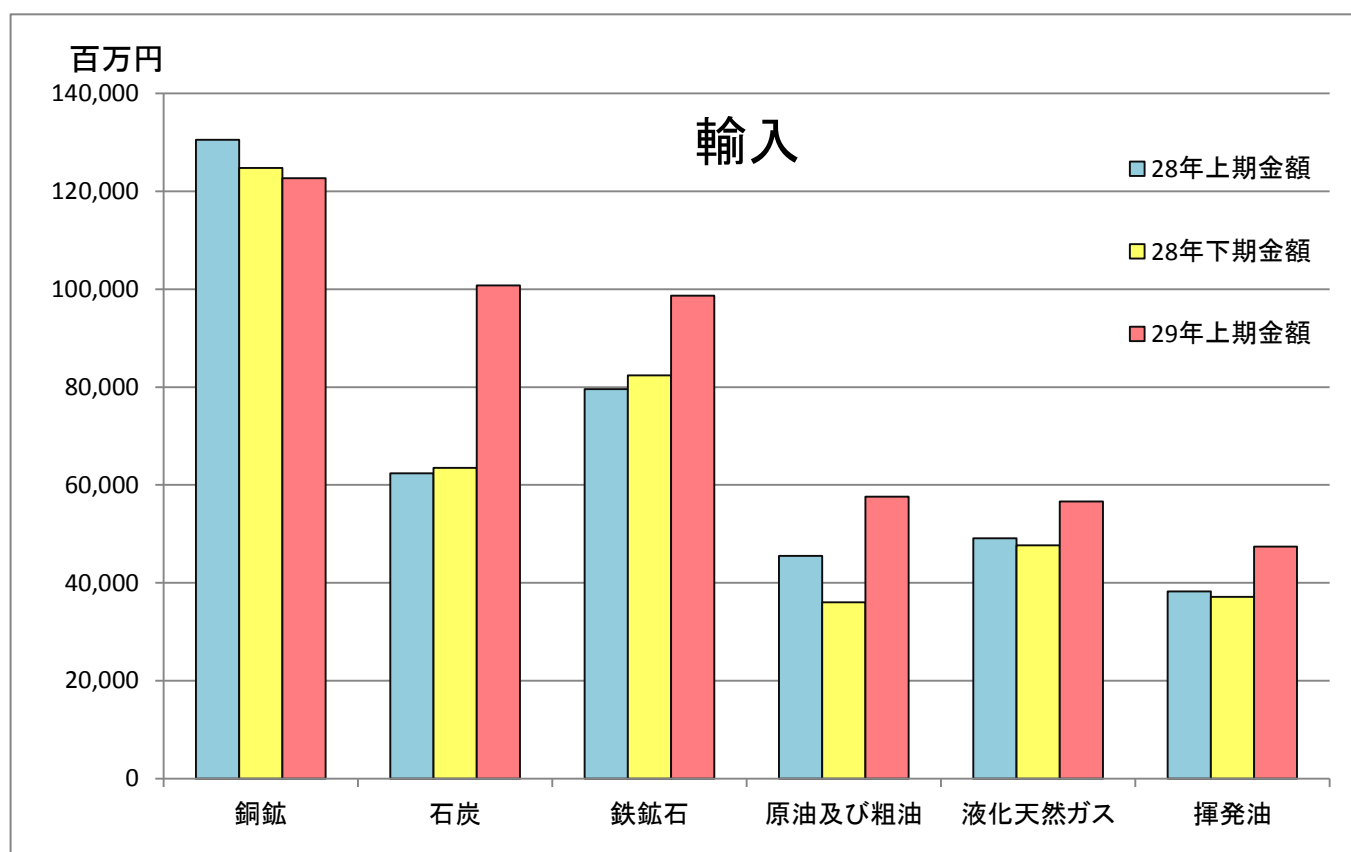
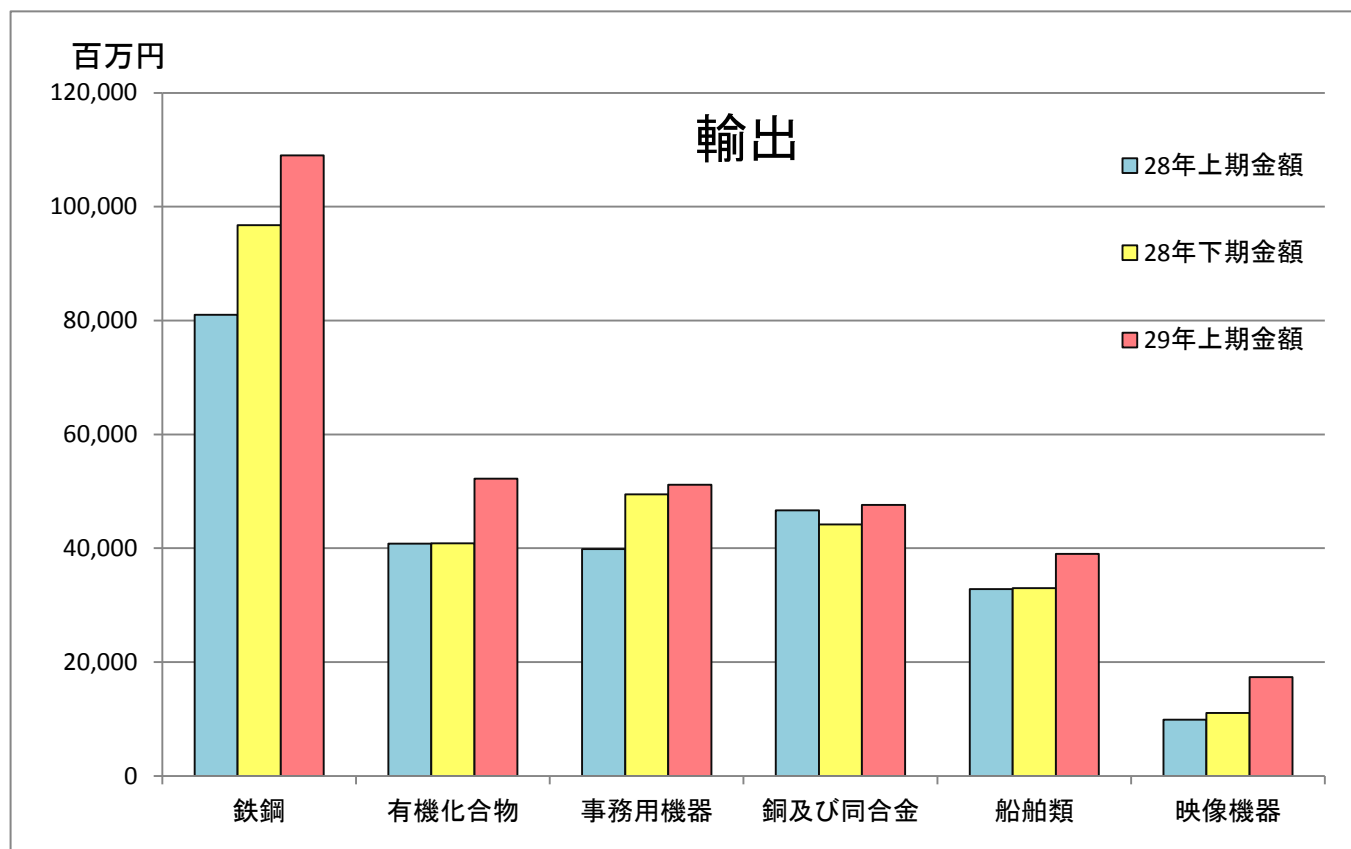
区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同期比			価 額	前年同期比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	326,785	124.8	↑	4期ぶりのプラス	536,873	121.1	↑	5期ぶりのプラス	入超	210,088
佐 伯(佐 伯)	13,908	282.9	↑	2期連続のプラス	1,760	209.6	↑	3期ぶりのプラス	出超	12,148
津久見(津久見)	21,932	108.7	↑	3期ぶりのプラス	3,652	97.6	↓	6期連続のマイナス	出超	18,280
大分空港(大分空港)	4	100.2	↑	2期ぶりのプラス	5	115.9	↑	2期連続のプラス	入超	1
大 分 県	362,629	126.4	↑	4期ぶりのプラス	542,289	121.1	↑	5期ぶりのプラス	入超	179,060

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

品目別の状況



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>